

令和2年10月9日（金）

山本一太群馬県知事 定例記者会見

本日の主な項目

- 豚熱の対応状況
- 市町村警戒度の導入
- マスク地産地消推進プロジェクト
- 令和3年度当初予算の編成方針

CSF 疫学調査チーム検討会の結果概要

農場への 侵入要因

防鳥ネットの設置なく、カラス等の野生動物の侵入が容易
⇒野生イノシシ由来ウイルスが**車両**や**野生動物**を介して**侵入**した可能性

通報までの 経緯

<9月上旬> 下痢や死亡発生するも**別の病気（浮腫病）**を疑い治療
<9月中旬> 獣医師が下痢の一因である**寄生虫**を確認
<9月下旬> 回復せず、**異常豚が増加**したことから、家畜保健衛生所に通報

今後の 発生予防対策

毎日の健康観察と早期通報・相談
適正な飼養衛生管理の徹底

豚熱（CSF）発生を受けての3つの重点対策

重点対策
I

野生イノシシの重点捕獲

重点対策
II

豚舎に侵入させない

重点対策
III

豚に感染させない

Ⅰ 野生イノシシの重点捕獲

豚熱予防のため**重点的に捕獲**します

重点捕獲地域

養豚場
の周辺

集中捕獲期間

10月～
12月末

捕獲経費の補助

1頭当たり
12,000円
(国+県)

※狩猟期(11/15～2月末)においても、有害捕獲の積極的な実施を市町村に依頼

Ⅱ 豚舎に侵入させない

飼養衛生管理基準遵守を徹底します

一斉点検

全農場



衛生管理チェック表

設置支援

防鳥ネット

防犯カメラ

Ⅲ 豚に感染させない

効果的なワクチン接種を目指します

国への要望①

家畜防疫員以外の

民間獣医師

による接種を可能に

国への要望②

接種を行う

民間獣医師にかかる費用を

国が支援

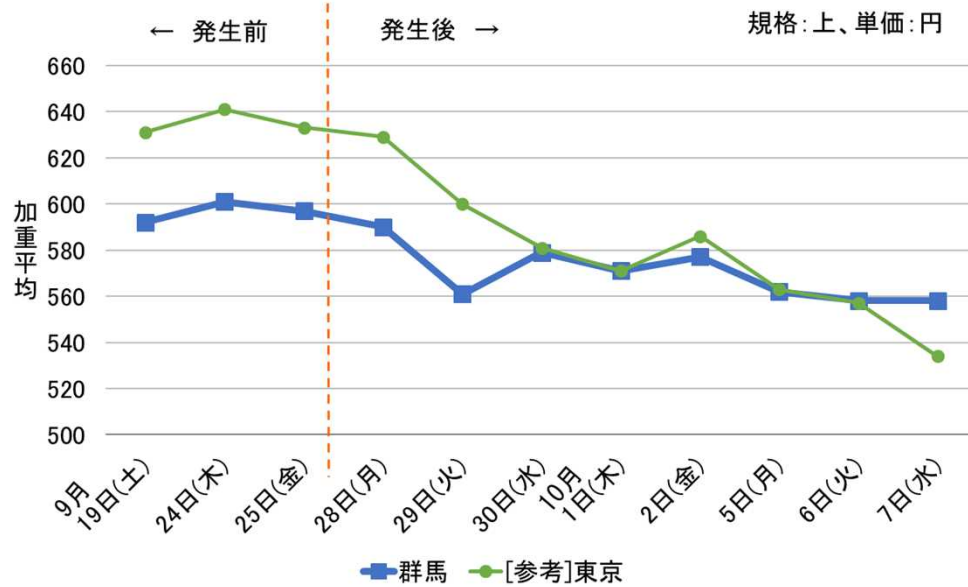
豚熱発生農場の防疫措置

全ての防疫措置は**本日中**の完了見込

- 10月1日殺処分終了 **5,887** 頭
- 10月7日埋却終了
- 防疫措置の作業従事者数 **2,558** 人

〔国、自衛隊員、高崎市、JA、建設業及びバス事業者等の関係団体、
獣医師、他県からの応援職員、県職員〕

群馬県食肉卸売市場の豚枝肉市況の推移



ガイドライン改定 市町村警戒度の導入

現行のガイドライン

全県での警戒度

客観的な数値

+

総合的な状況



NEW

市町村別の警戒度

判断①

保健所ごとに評価



判断②

市町村ごとに評価

地域レベルでの判断基準

判断①：保健所ごとの判断基準



人口10万人当たりの新規感染者数

2.0人/日

全県での病床稼働率

30%超えかつ**上昇傾向**

※ 判断①の基準を超過した保健所管轄地域のみ判断②により評価

判断②：市町村ごとの判断基準

人口10万人当たりの新規感染者数

3.5人/日

※ 判断①②では、数値基準に加え、感染状況や感染経路不明者の状況などを総合的に判断

イベント開催制限の緩和に関する概要

◆ **10月10日（土）** から緩和

- 基本的な感染防止対策の徹底
- 業種別の**ガイドラインの見直しと遵守** } を前提

イベントの種類	会場の収容人数		
	～5,000人	5,001～10,000人	10,001人～
大声での歓声・声援等がない 例) クラシック音楽コンサート、演劇、舞踊、伝統芸能、芸能・演芸、公演、式典、展示会等	100%以内	5,000人以内	50%以内
大声での歓声・声援等が想定される 例) スポーツイベント、ライブハウス、ロック・ポップコンサート、公営競技、公演、等	50%以内		
緩和前（現行）	50%以内		5,000人以内

問い合わせ先

群馬県庁危機管理課

☎ 027 - 226 - 2420

警戒度移行の判断基準 <客観的な数値：感染状況>

項目		基準の内容		現在値(10/8)	前回値(9/30)
1 感染状況	(1)新規感染者数	1日平均	20人	5.0人	2.4人
	(2)経路不明の感染者数	全体に占める割合	50%	42.9%	41.2%
	(3)検査の陽性率	平均	7%	2.5%	1.2%

※各判断基準は、現状の医療提供体制を逼迫させないことを基にしているため、今後の体制整備の進展に合わせ、基準も変動します。
 ※(1)~(3)は1週間の移動平均。新規感染者は、公表ベースです。

警戒度移行の判断基準 <客観的な数値：医療提供体制>

項目		基準の内容		現在値(10/8)	前回値(9/30)
2 医療提供体制	(1)重症例への診療体制	①人工呼吸器使用 (23台中)	1 / 2 (11台)	5台	2台
		②うちECMO使用 (9台中)	1 / 3 (3台)	3台	1台
	(2)病床の稼働率	感染者用 確保病床の稼働率 (305床中)	警戒度4 70%以上 警戒度3 40%以上 警戒度2 15%以上 警戒度1 15%未満	13.8%	12.1%
参考	宿泊療養施設の稼働状況	軽症者用 宿泊療養施設の入居者数 (150室中)	-	0人	1人

※各判断基準は、現状の医療提供体制を逼迫させないことを基にしているため、今後の体制整備の進展に合わせ、基準も変動します。

警戒度2 における 要請

個人		
外出	県外移動	イベント
① 3密となるリスクが高い場所 ② 高齢者・基礎疾患患者 外出は十分注意	東京都、沖縄県 不要不急の外出は 自粛	上限 5,000人 定員の50%以下
		} を緩和
事業者		【参考】学校
休業等	勤務形態	
高齢者施設や 病院等での直接面会 十分注意 (オンライン面会等を推奨)	テレワーク 3割目標 時差出勤等 推奨	通常登校を継続 県外移動を自粛すべき地域 との対外試合等は自粛 ※ 全国大会の代替大会は除く

群馬県マスク地産地消推進プロジェクト

開始

- ◆ 県民であれば店頭には並ばず、**自宅にしながら購入可能**

・ {  /  /  } で簡単申し込み

- ◆ 県産の**高品質マスク**

・ 県内企業の協力で供給体制を整備



県民
限定

【販売】 **11月20日 (金) 9:00** から

第3回 群馬県民限定 マスク販売

県民
限定

県内生産マスク **2,000**セット販売

抽選販売

1セット **100**枚入り

(50枚/箱×2箱)

¥ **3,000**

(消費税・配送料・代引き手数料込み)



抽選販売 申込受付期間

10/12 月 10:00 ▶ **10/19** 月 17:00

詳細は、県HPをご覧ください

Go To Eat キャンペーン 開始

県民の
皆さまへ

食事券の利用

10/30

(金)から

Go To Eat キャンペーン

新しい生活様式で食を愉しもう

Go To Eat
Campaign



飲食店の
皆さまへ

参加店

募集中

専用HPまで

会食における「新しい生活様式」

対面ではなく
横並びで座ろう

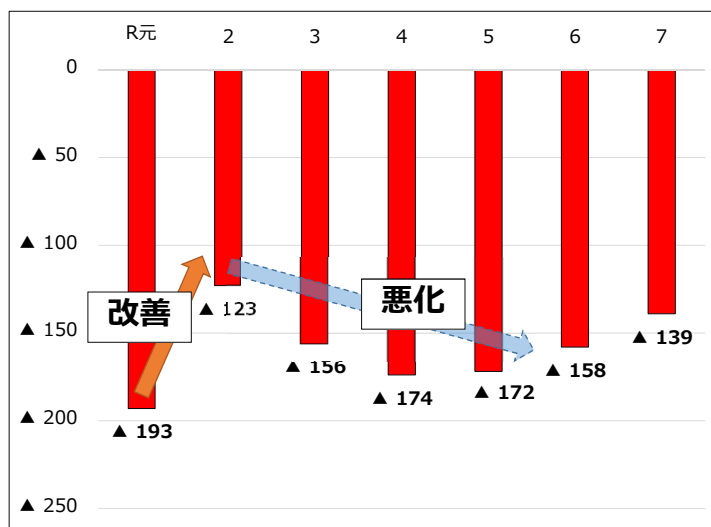
料理に集中
**おしゃべり
控えめに**

大皿を避けて
料理は個々に

グラスやお猪口の
**回し飲み・お酌
避ける**

厚生労働省：『「新しい生活様式」の実践例』から

群馬県中期財政見通し（R2年10月推計）の概要



今後の財源不足額の推計

悪化の要因

- ・ 社会保障関係経費の増加
- ・ 企業の資金繰り支援
- ・ 国体に向けた基金積立 など

※更に**税収減**も懸念
(推計には未反映)

！ 対策しない場合

- × 基金の枯渇
- × 県債残高の増加

R3年度当初予算 編成方針

～「Withコロナ」モードの予算編成～

厳しい
財政状況

- 税収などの歳入減
- コロナ対策などの歳出増

事業の
見直し

- ニューノーマルの視点も加えて事業見直しを強化
- DX等による効率化

資源の
シフト

- コロナとの長期戦
- 新・総合計画のビジョンを踏まえて本県に新たな富や価値を生み出す施策

財源やマンパワー
を大胆に振り向け

行政手続き等における押印の廃止

県民や事業者等に
押印を求めているもの

許認可・届出など

約2,400件で押印が必要

県庁内部の申請等で
押印を求めているもの

電子決裁率100%

への取組も加速化

原則 **押印廃止** を検討

